

## 令和4年度 学校評価(総括評価表)

### 1. 学校教育目標

- (1)心身ともに健全で人間尊重と助け合いの精神に満ちた、社会に貢献できる人間の育成に努める。
- (2)勤労と学業の両立を図り、進んで諸問題を解決しようとする自主的・自発的な姿勢を持つ人間の育成を図る。
- (3)生徒と教師相互の温かい人間関係を深めるとともに、個別指導の一層の充実を図り、基礎学力の向上に努める。
- (4)家庭と学校との連携を密にし、規則正しい生活習慣の確立と就労の指導を推進し、望ましい生活態度の育成に努める。
- (5)命を大切に教育を推進し、交通安全教育に努める。

### 2. 本年度の重点目標

- (1)基本的生活習慣の確立を図る生徒指導を充実する。
- (2)勤労と学業の両立を図り、社会で自立する能力や態度を育成する。
- (3)自他を大切に心や態度を育成する。
- (4)防災・安全教育の徹底と環境教育を推進する。
- (5)主権者教育・消費者教育・情報教育を推進する。

徳島県立名西高等学校定時制課程

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
		評価指標と活動計画	評価			
「基本的生活習慣の確立」  「社会で自立する能力や態度の育成」	<b>(全校レベル)</b> I) 個に応じた支援を実践し、生活習慣の確立と基礎学力の向上を図る。  <b>(下位組織レベル)</b> ① キャリア教育を推進する中で、生徒の進路意識を明確にし、学習能力・態度を高める。 [進路課・生徒課] ② わかる授業を実践するとともに、個々の生徒の学力について共通理解を図り、支援の方策を探る。 [教務課・進路課・各教科] ③ 「総合的な探究の時間」を活用する。 [教務課・進路課]	評価指標 I) 授業出席率 85%以上。(R3 93.1%) 遅刻する生徒の割合 5%以下。(R3 2.9%) ①-1 進路に関する内容のホームルーム活動の実施回数。年間 5 回以上	評価指標による達成度 I) 授業出席率 91.1% 遅刻する生徒の割合 4.2% ①-1 進路に関するホームルーム活動の実施活動 1年6回, 2年6回, 3年7回, 4年8回 ①-2 ロールモデルを意識し、就職先や進学先で活躍している卒業生を講師に進路講演会、勤労観等の育成をめざして「藍染めTシャツ実習」、生徒の労働意欲を喚起するため就職やアルバイトを見据えた「労働条件セミナー」など、のキャリア教育行事を年間 3 回実施することができた。 ①-3 アルバイト等校外での活動をしている生徒の割合。60%以上。(R3 52%) ②-1 基礎学力を定着させるための確認テスト(英国数)を実施する。年間 3 回以上 ②-2 学力検討会実施回数。年間 5 回以上 ②-3 教員相互の授業参観。各学期に 1 回以上 ②-4 授業評価による生徒の満足度・理解度の向上。満足度 90%以上, 理解度 80%以上 (R3 満足度 88.6% 理解度 82.5%) ③ 総合的な探究の時間における「学びの場」満足度の向上。90%以上 (R3 90.9%) 活動計画	総合評価 (評定) A (所見) 昨年度より低下はしているが授業出席率は 90%を超え、毎日学校に通うことが当たり前にはなっていない。授業評価における満足度は高いものの、理解度については低下しており、「学び直し」から高校の授業内容へ繋ぐ工夫については更に検討をする必要があると考える。少人数の強みを生かし、生徒がやる気を持って学習に臨める授業展開を実践することで理解度を高め	①インターンシップ等の活用で、就労体験による就職に向けての意識の向上も行ったらいのではないかと。②小さな成功体験が肯定感の育成につながることを考えるので、資格試験や各種コンテストへの積極的な参加を次年度も奨励してもらいたい。③エシカル教育として野菜の栽培を行っていることが素晴らしい。成果を上げるために、農家の方の指導や助言をもらってはどうか。④「総合的な学習(探究)の時間」は生徒の主体的な探究活動をどのよう支援するかにかかっている。非常に手間がかかり、大変だとは	①欠席率、遅刻率とも目標値内ではあるが、連続して欠席や遅刻する生徒が多い。登校時の状況把握で兆候をつかみ、相談するなどして欠席の防止を図る。  ②今後も講演会やワークショップ形式の授業を開き、様々な立場の方の話を聞いたり、体験型の行事を通じて、自己実現に関する目的意識や望ましい勤労観の醸成を勧めよう指導を継続する。また、次年度も生徒の社会性向上を図るため、体系的なキャリア教育行事を推進するとともに、基礎学力の向上や出席の奨励等をはじめ勤労観の育成に努める。  ③基礎学力定着のために、個々の状況に合わせてテストの難易度を設定する必要がある。教員相互の授業参観は次年度も継続し、活発
		①-1 進路に関するホームルーム活動の実施回数。年間 5 回以上 ①-2 就職における関連機関等と連携し、進路講演会等を実施。年間 2 回以上 ①-3 アルバイト等校外での活動をしている生徒の割合。60%以上。(R3 52%) ②-1 基礎学力を定着させるための確認テスト(英国数)を実施する。年間 3 回以上 ②-2 学力検討会実施回数。年間 5 回以上 ②-3 教員相互の授業参観。各学期に 1 回以上 ②-4 授業評価による生徒の満足度・理解度の向上。満足度 90%以上, 理解度 80%以上 (R3 満足度 88.6% 理解度 82.5%) ③ 総合的な探究の時間における「学びの場」満足度の向上。90%以上 (R3 90.9%) 活動計画	①-1 進路に関するホームルーム活動の実施活動 1年6回, 2年6回, 3年7回, 4年8回 ①-2 ロールモデルを意識し、就職先や進学先で活躍している卒業生を講師に進路講演会、勤労観等の育成をめざして「藍染めTシャツ実習」、生徒の労働意欲を喚起するため就職やアルバイトを見据えた「労働条件セミナー」など、のキャリア教育行事を年間 3 回実施することができた。 ①-3 アルバイト等校外での活動をしている生徒の割合。55% ②-1 授業中に実施。英語検定、漢字検定、算数検定等の問題で 3 回以上実施。 ②-2 学力検討会の実施回数 年間 5 回 1 学期 2 回, 2 学期 2 回, 3 学期 1 回 ②-3 各学期に 1 回, 1 週間の授業参観を実施。 ②-4 授業評価による生徒の満足度・理解度 満足度 93.6%, 理解度 79.7% ③ 満足度は 93.8%であった。 活動計画の実施状況			

		<p>I) 生徒の実態について共通理解を図り、個に応じた支援を検討し、実践する。</p> <p>①-1 進路に関する内容を取り入れたホームルーム活動を実施し、生徒の学習意欲を高めるとともに社会性を身につけさせる。</p> <p>①-2 生徒の進路実現に向けて、進路講演会等のキャリア教育行事を系統的に実施する。</p> <p>①-3 アルバイト等校外での活動を推奨し、社会性を身につけさせる。</p> <p>②-1 英国数の授業で中学校の内容も取り扱い、基礎学力の向上を目指す。</p> <p>②-2 学力検討会を実施し、生徒の学力について共通理解を図り、支援の方策を探る。</p> <p>②-3 教員相互に授業参観を行い、他教科における生徒の理解度を把握し、授業改善に役立てる。</p> <p>②-4 授業評価の結果を分析し、授業方法の改善やわかる授業の実践に役立てる。</p> <p>③ 総合的な探究の時間において、「学びの場」を設け、自ら学び、知る喜びを感じさせるとともに、基礎学力を高める。また、社会で自立する能力や態度を培う。</p>	<p>I) それぞれの生徒の状況に応じて全教員で支援策を検討し、実践した。</p> <p>①-1 ホームルーム活動を利用して、進路実現に向けた取り組みを実施し、職業人としての求められる資質について指導を行った。</p> <p>①-2 進路講演会以外にも「エシカル教育行事」などを利用し、勤労観や労働意欲の醸成に取り組むキャリア教育内容の行事を実施することができた。</p> <p>①-3 アルバイト等校外での活動を推奨した結果55%の生徒がアルバイトに従事している。</p> <p>②-1 各教科とも中学校及び小学校の内容からも確認を行った。</p> <p>②-2 学力向上に向けた検討会を年間を通して実施し、生徒の学力や意識調査の結果について共通理解を図るとともに、学習支援について相談することができた。</p> <p>②-3 他教科での生徒の取組を踏まえ、授業の改善に役立てた。</p> <p>②-4 学力向上アンケートや学校生活等の意識調査の結果を分析し、授業改善や生徒理解をすすめることができた。</p> <p>③ 協働的な活動の中で、積極的に学ぶことにより、基礎学力を高め、ICTを活用し、コミュニケーション能力を培った。</p>	<p>たい。</p> <p>社会の接点が少なく、自分から積極的に動くことが少ない生徒が多いことからアルバイトの推奨やエシカル教育を通しての体験を行っている。これらを通じて労働観や達成感を育て、自分の将来について主体的に考える姿勢を身につけさせたい。</p>	<p>思うがきめ細やかな指導をお願いしたい。</p> <p>な意見交換を行い、生徒理解と授業改善に役立てる。</p>
<p>「自他を大切にす る心や態度の育 成」 「主権者意識や防 災意識の高揚」</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>I) 生徒の人間関係構築力や社会性の育成を図り、自他を守る社会規範を身につけさせる。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>① 異年齢間の交流や社会体験などを多く経験させる。 [各学年・特活課]</p> <p>② 校外での活動を推奨し、地域との繋がりを感じさせる。 [各学年・特活課]</p> <p>③ 個に応じた指導を実</p>	<p>評価指標</p> <p>I) 4月に比べ、人間関係構築力や社会性が向上したと考える生徒の割合。 90%以上 (R3 85.2%)</p> <p>① 学校行事への満足度。80%以上(R3 85.2%) エシカルクラブ活動に対する生徒の満足度・理解度の向上。 80%以上(R3 94.1%)</p> <p>② 地域に貢献するボランティア活動の実施。 年間2回以上で参加率60%以上</p> <p>③ 生徒の状況について共通理解を図る機会の設定。 年間6回以上</p> <p>④ いじめを許さない体制と雰囲気作りを行</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>I) 4月に比べ、人間関係構築力や社会性が向上したと考える生徒の割合。89.7%</p> <p>① 学校行事への満足度。 100% エシカルクラブ活動に対する生徒の満足度・理解度の向上。 満足度96.6%、理解度96.6%</p> <p>② 生徒会活動の一環として前期・後期の2回実施し、声かけをした生徒会所属の生徒のうち90%の生徒が参加し、地域の清掃活動を実施することができた。</p> <p>③ 毎日の連絡会や、職員会議などを通して日常的に情報交換を行い、共通理解を図った。</p> <p>④ 教員間の情報交換、連携を密に図り、</p>	<p>総合評価 (評定)</p> <p>A</p> <p>(所見)</p> <p>人間関係構築力や社会性の構築を実感した生徒の割合が増</p>	<p>① 学校行事は生徒にとって高校生活の思い出になるものであり、登校するモチベーションにもなる。生徒の意見も取り入れながらさらに魅力あるものにしていただきたい。</p> <p>② 地域に愛される学校づくりの一環としても大切であるので、できるだけ多くの機会を作っていただきたい。</p> <p>③ いろいろな事情を抱</p> <p>① 生徒の自己実現の達成に役立つ学校行事になるように内容の改善に取り組む。また、挨拶を励行し、学校行事においても礼法指導を徹底する。</p> <p>② 日々の関わりから生徒の情報収集を行い、必要に応じて共通理解を図る。研修等で学んだ情報は積極的に周知するように努め、指導に活かす。</p> <p>③ 本年度の成果を踏まえ、ZOOM等を活用し、オンラ</p>

<p>践する。</p> <p>[各学年・特別支援コーディネーター]</p> <p>④ いじめを防止する。 [各学年・生徒課]</p> <p>⑤ さまざまな人権問題に対する意識を向上させる。 [各学年・人権教育課]</p> <p>⑥ 防災教育を充実させる。 [各学年・環境教育課]</p> <p>⑦ 主権者意識を高める教育を推進する。</p> <p>[公民科・各教科]</p>	<p>い、アンケート実施により現状把握を行う。 (R3 いじめ0件)</p> <p>⑤ 人権問題に対する意識が向上したと感じる生徒の割合。 80%以上 (R3 81.5%)</p> <p>⑥ 防災訓練・避難訓練の実施。 年間3回以上</p> <p>⑦ 政治や選挙、政治的事象への関心が高まったと感じる生徒の割合。 75%以上 (R3 81.5%)</p> <p><b>活動計画</b></p> <p>I) 生徒一人一人の特性等について共通理解を図り、人間関係構築力や社会性の育成を目指した指導を実践する。</p> <p>① 魅力ある学校行事を実施し、より多くの生徒に異年齢間の交流や社会体験を経験させる。</p> <p>② 学校行事や生徒会活動のなかで清掃活動を実施し、地域に貢献する意欲を高める。</p> <p>③ 特別支援コーディネーターを中心に、特別な支援を要する生徒について共通理解を図る機会を設け、個に応じた指導が実践できるようにする。</p> <p>④ いじめに関するホームルーム活動を行い、アンケートを実施する。</p> <p>⑤ 人権問題に関するホームルーム活動や講演会等の行事を系統的に行い、アンケートを実施する。</p> <p>⑥ 効果的な防災訓練や避難訓練を実施する。</p> <p>⑦ 公民科を中心として各教科の授業や学校行事で主権者教育を実施する。</p>	<p>指導と雰囲気作りに努めた。 いじめ発生件数1件</p> <p>⑤ 人権意識が向上したと回答した生徒の割合は、全体で86.2%であり、昨年より向上していると感じた。</p> <p>⑥ 地震・火災を想定した避難訓練を各学期1回ずつ実施した。</p> <p>⑦ 政治や選挙、政治的事象への関心が高まったと感じる生徒の割合。 79.3%</p> <p><b>活動計画の実施状況</b></p> <p>I) 機会を捉えて生徒の特性や発達段階などについて共通理解を図り、各場面で個に応じた指導を実践することができた。</p> <p>① スポーツ大会や遠足、予餞会での動画鑑賞等、学年を超えて交流を図る魅力的な行事を実施できた。</p> <p>② 生徒会活動の一環として前期・後期の2回実施し、地域の清掃活動を実施することができた。また、大掃除で校内の清掃にも励むことができた。</p> <p>③ 機会あるごとに共通理解を図る機会を設けた。また、保健調査等からの情報を提供すると共に、職員会議を通して意見交換を行い、指導に活かした。</p> <p>④ 6月と12月に、学校生活における不安や人権問題などに関わるアンケートを行い、いじめの早期発見に努めた。</p> <p>⑤ 人権ホームルーム活動や人権講演会、人権映画鑑賞会を系統的に行い、人権アンケートを講演会后に実施し、生徒の人権意識を把握した。</p> <p>⑥ 停電時を想定し、安全を配慮した上で照明を消した状態で避難訓練を実施した。</p> <p>⑦ 今年度は選挙管理委員会と連携しての主権者行事は実施しなかったが、各教科・学校行事の指導を通して主権者意識の醸成をはかった。</p>	<p>えている。本校生の実態を踏まえると、日々の授業は大切であるが、「魅力ある」学校行事の企画・運営も重要である。外部講師招聘授業や学年を越えた生徒との交流など、普段の授業とは違う活躍の場が与えられることによって、生徒は様々な経験を積み、さらなる成長が見込まれる。</p> <p>各行事終了後にはアンケートをとっている。理解度や感想を記入することで、振り返りをさせている。アンケート調査からは、学校行事に対する生徒の満足度は毎年変わらず高い。来年以降も満足度につながる取り組みを推し進めたい。</p>	<p>えて入学している生徒が多くいるので良い相談相手になっていただきたい。</p> <p>④ 少人数ならではのきめ細やかなご指導をお願いしたい。</p> <p>⑤ 異常気象や地震など予測不能な災害に向けて備えることは大変難しいものではあるが、できるだけ「想定内」になるよう準備をして欲しい。</p>	<p>インで遠隔地にいながらも最先端の技術や知識に触れられるような魅力的な行事を計画する。</p> <p>④ 生徒が安心して学校生活を送ることができる指導体制と雰囲気作りに取り組む。</p> <p>⑤ 模擬投票などの体験型行事のみとせず、ホームルームや学校、地域社会への関心を高めることを通じて主権者意識の醸成をはかりたい。また、今後も社会の出来事への関心を高めるためICT教材を積極的に活用して授業を進めたい。</p>
---	---	--	--	---	--